

六甲高山植物園 ユニークな姿の人気者 ユキモチソウが咲き始めました！

六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:宮西幸治 阪神電気鉄道株式会社 100%出資)が六甲山上で運営を行っている六甲高山植物園では、ユニークな形で老若男女に大人気の「ユキモチソウ」が咲き始めました。

「ユキモチソウ」は、現在は環境省のレッドデータ“絶滅危惧Ⅱ類”に指定されている希少な植物の一つです。ユニークな姿と“お餅”を連想させる愛らしい名前から園内で人気を集めています。

◆ユキモチソウ(サトイモ科)



本州(静岡県・三重県・奈良県)・四国の山地の林下に生える高さ30~50cmの多年草です。花の一部で「付属体」と呼ばれる部分の先端が白く丸くなっており、その形からお餅を連想して「雪餅草」と書きます。当園に咲くユキモチソウは、園内に約70株点在しており、大型連休中に見頃を迎える見込みです。

【その他 見頃の花】



ロードデンドロン・アルボレウム



チングルマ



シラネアオイ

◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園 TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137
住所:〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【開園期間】3月16日(土)~11月24日(日) 【休園日】9月7日(木)、12日(木)
【開園時間】10:00~17:00 (16:30受付終了)
【入園料】大人(中学生以上)620円/小人(4歳~小学生)310円